

【参考資料】札幌水道ビジョン2015-2024[改定版] 主要事業の内容

資料 水-2 参考①

豊平川水道水源水質保全事業の実施 **見直し**

＜主要事業1 水源の水質保全＞

豊平川上流域における水質悪化の要因を取り除くとともに、事故・災害発生時においても良質な原水を確保することを目的として、豊平川水道水源水質保全事業を実施

[総事業費：約290億円 事業期間：2005～2026年度]



【ビジョン前半期(2015-2019)の実施結果】

- ・導水路(総延長約10km)の整備を完了
- ・2017年度から取水堰の整備、2019年度から放流調整池関連施設の工事に着手

事業費 (2015-2019)	計画値	150億円
	決算値	135億円

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組内容】

- ・取水堰、導水路、放流調整池等で構成するバイパスシステムを整備(2025年度完了予定)
- ・運用開始により白川浄水場で取水する原水のヒ素濃度を現状の1/10以下に低減
- ・事故・災害のため、バイパスシステムと白川浄水場をつなぐ緊急導水管を整備(2026年度完了予定)

予定事業費 (2020-2024)	104億円
----------------------	-------

【見直しのポイント】

- ・放流調整池や斜面部の配管の整備における、敷地内工事の輻輳や施工順序の制約により、事業の完了時期を当初予定の2020年度から2026年度に先送り

白川浄水場の改修 **見直し**

＜主要事業4 取水・導水・浄水施設の改修＞

市内最大の浄水場である白川浄水場について、耐震性能の不足や経年劣化に対応するため、段階的に改修を行う。

[新浄水場と新取水導水施設の建設 事業費：約400億円 事業期間：2014～2027年度]

【ビジョン前半期(2015-2019)の実施結果】

- ・新たな浄水場と取水導水施設の整備に関する調査・設計を実施

事業費 (2015-2019)	計画値	42億円
	決算値	8億円

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組内容】

- ・新たな浄水場と取水導水施設の建設を進める。(2027年度完了予定)

予定事業費 (2020-2024)	153億円
----------------------	-------



【見直しのポイント】

- ・新浄水場の建設において、最新の水需要予測の動向を踏まえ、施設規模を再検討しダウンサイジングを決定。完成時期を当初計画の2025年度完了から2027年度に先送り

配水管(配水枝線)の更新

＜主要事業6 配水管の更新＞

市内の配水管の約8割を占める配水枝線約4,800kmについて「配水管更新計画」に基づき、延命化や業務量の平準化を図りながら更新。更新の際に耐震管を用いることで地震に強い水道管網を構築

[概算事業費：約680億円 事業期間：2013～2024年度]

【ビジョン前半期(2015-2019)の実施結果】

- ・2015～2018年度の4年間で約265kmを更新

事業費 (2015-2019)	計画値	253億円
	決算値	302億円

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組内容】

- ・更新計画に基づき事業を進め、計画の第1期事業(2013-2024)が完了するまでに合計704kmの配水管を更新
- ・地震により接続部分が抜け出しやすい地盤があることも重視して配水管を更新 **新規**

予定事業費 (2020-2024)	316億円
----------------------	-------

【見直しのポイント】

- ・北海道胆振東部地震の被害を踏まえ、地震による影響も考慮して配水管を更新

指標	2018年度末実績	2024年度末目標
更新済延長(2013年度～)[km]	381km	704km

業務継続性の確保

＜主要事業9 応急給水対策と保安の強化＞

◆非常用発電機の整備 **新規**

北海道胆振東部地震では、停電(ブラックアウト)により、予備電源がない水道局庁舎で、災害対応業務に支障が生じた。

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組内容】

- ・停電時においても業務を継続できる体制を整えるため、必要な庁舎に非常用発電機を整備

予定事業費 (2020-2024)	1億円
----------------------	-----

◆浸水対策の充実 **新規**

近年の全国的な台風、豪雨などの災害による水害被害を教訓に対策を強化することが必要

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組内容】

- ・浄水場などにおいて、大雨による浸水等の影響を軽減するための対策の充実を図る。

予定事業費 (2020-2024)	2億円
----------------------	-----

利用者サービスの向上

＜主要事業10 利用者とのコミュニケーションの充実＞

◆電話受付センターの機能拡充 **新規**

応答率向上のため、2019年度に庁舎外に受付センターを開設してオペレーター数の安定的な確保に対応。今後は、対応の品質をさらに向上させていくため、引き続き、機能の拡充に取り組む。

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組内容】

- ・電話受付センターの体制や運営方法の見直しを行い、応答率や対応品質の向上を図る。

指標	2018年度末実績	2024年度末目標
電話受付センターの応答率 [%]	44%	85%

◆無線式メーターの設置地域の拡大 **新規**

積雪などで水道メーターを検針することができない場合、過去の使用実績等に基づく推定により水道料金を請求し、雪解け後の検針で過不足額を精算しているが、メーターを目視せずに検針ができる「無線式メーター」を導入することで、冬期間でも正確な料金請求が可能となる。

【ビジョン後半期(2020-2024)の取組】

- ・冬期間でも検針可能な無線式メーターの設置を進め、推定による料金請求を改善

予定事業費 (2020-2024)	35億円
----------------------	------